

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
音楽表現	1	前期	演習	1	中村 佳代子
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>テーマ：領域「表現」のねらい及び内容を理解し、乳幼児期の発達を活かす身体全体を使った動きを実践的に体験し、保育者として必要な音楽表現の知識・技能・表現力を身につける。</p> <p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「表現」のねらい及び内容について学び、乳幼児の発達を理解し、乳幼児の姿を受け止め共感することができる。 2. 音楽の持つ様々な要素を、身体全体を使った動きで体験し、音楽力を高め表情豊かに表現できる。 3. 自然や日常生活の事象に眼を向け、身体の諸感覚で捉え表現ができる。 4. グループワークの協働作業により、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につないでいくことができる。 					
<p>○授業の概要</p> <p>保育者として求められる表現力を、音楽の基礎知識の学習や身体全体を使った音楽表現により培い、乳幼児期に相応しい音楽表現を通して表現することの楽しさや喜びを自ら体験させる。また乳幼児期の生活や遊びを理解し、発達を促す音楽表現活動を協働して深める。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：領域「表現」のねらい及び内容と、乳幼児期の音楽表現について</p> <p>第2回：コミュニケーションの発達を促す「子どものうた」について（拍、コミュニケーション）</p> <p>第3回：ことばの発達を促す「子どものうた」について（拍子とリズム）</p> <p>第4回：動きの発達を促す「子どものうた」について（テンポとダイナミクス、身体の知覚）</p> <p>第5回：認知や社会性の発達を促す「子どものうた」について（フレーズ）</p> <p>第6回：伝承あそび「わらべうた」の特徴と意義、音楽的特徴と意義について</p> <p>第7回：唱歌、童謡など日本の歌について</p> <p>第8回：音のスケッチ － 声や自然の音、楽器の音、絵（図形）のイメージを描く</p> <p>第9回：音のスケッチ － 描いたものを声や楽器、身体で表現。グループワーク（アンサンブル）</p> <p>第10回：イメージ音楽 － ピアノを使用したイメージ音楽、効果音について</p> <p>第11回：イメージ音楽 － 協働して短い物語を作り、声や楽器、身体全体を使って表現する</p> <p>第12回：視覚的教材による歌唱の導入について</p> <p>第13回：視覚的教材を用いた表現方法について</p> <p>第14回：視覚的教材を用いた表現を実践し、考察する</p> <p>第15回：まとめ</p> <p>定期試験</p>					
<p>○テキスト</p> <p>『新たなしいこどものうたあそび』木村鈴代編著 同文書院</p> <p>『ユニバーサルデザインの音楽表現』星山麻木編著 萌文書林</p>					

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

受講態度 30%

提出物 30%

講義内発表・実技試験 40%